

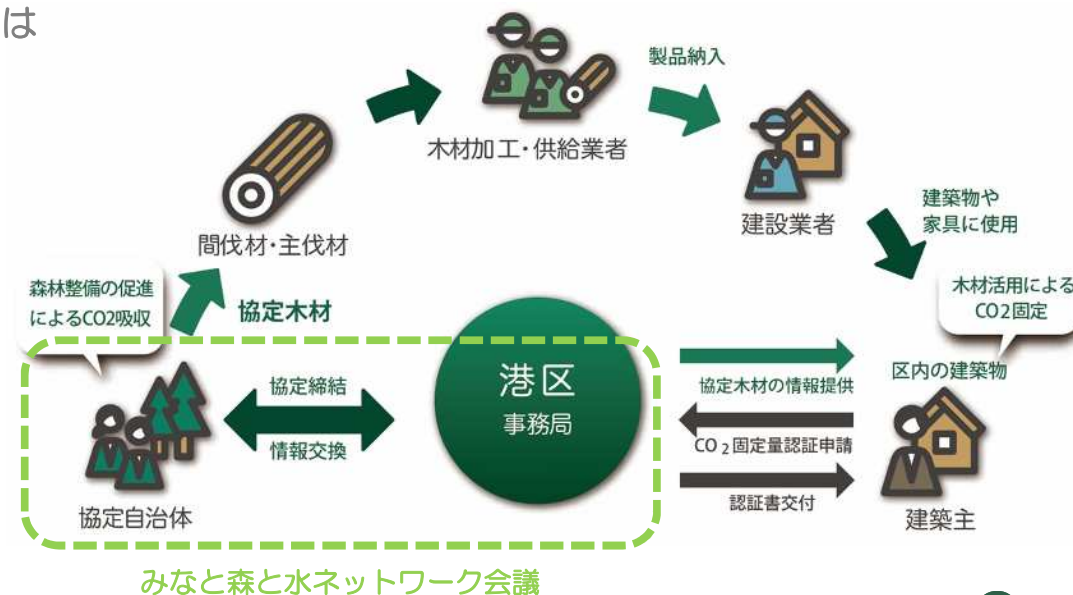
みなとモデル二酸化炭素固定認証制度表彰 令和4年度受賞施設



Minato Model Carbon Dioxide Fixation Certification Award 2022

みなとモデル二酸化炭素固定認証制度 とは

- ▶ みなとモデル二酸化炭素固定認証制度は、区内で新たに建てられる建築物（延べ面積5,000㎡未満は任意）や、オフィス、店舗等のテナントについて、床面積1㎡につき、0.001㎡以上の協定木材をはじめとする国産木材の使用を促し、国産木材の使用量に応じて★、★★、★★★の3段階の二酸化炭素固定量の認証を行う制度です。
- ▶ 本制度では、区と「間伐材を始めとした国産材の活用促進に関する協定」を締結した森林資源を豊富に有する自治体（以下「協定自治体」といいます。令和5年3月1日現在 80自治体）から産出される「協定木材」の使用を推奨しています。
- ▶ 都心に位置する港区で建てられる建築物等に持続可能な森林で伐採された木材の利用を促進することで、区内の二酸化炭素固定量を増やすとともに、森林整備の促進による二酸化炭素吸収量の増加を図り、脱炭素社会の実現に貢献することを目的としています。



「みなと森と水ネットワーク会議」は協定自治体で構成した連携組織で、英語名「UNIFIED NETWORKING INITIATIVE FOR MINATO “MORI&MIZU” MEETING」の頭文字をとった、「uni4m（ユニフォーム）」が愛称です。



期 間 H23.10.1.~R4.3.31	木 材 使 用 量 の 基 準 値			認 証 件 数
	基準値 ★認証書の発行 床面積1㎡につき0.001㎡	アップグレード値① ★★認証書を発行 床面積1㎡につき0.005㎡	アップグレード値② ★★★認証書を発行 床面積1㎡につき0.010㎡	
民間建築物 他	173	16	5	194
区有建築物	0	13	13	26
認証建築物 累計	173	29	18	220
テナント認証 累計	8	5	10	23

みなとモデル二酸化炭素固定認証制度表彰とは

港区では、平成23年10月に「建築主におけるみなとモデル二酸化炭素固定認証制度」、平成25年9月に「テナント事業者におけるみなとモデル二酸化炭素固定認証制度」（以下、両制度をまとめて「みなとモデル二酸化炭素固定認証制度」といいます。）を施行し、協定木材をはじめとする国産木材（以下「協定木材等」といいます。）の建築物等への使用を推進してきました。

みなとモデル二酸化炭素固定認証制度の施行から10年が経過し、協定木材等の更なる活用、国内の森林整備及び森林の二酸化炭素の吸収量の増大の一層の促進に資することを目的として、令和4年4月に「みなとモデル二酸化炭素固定認証制度表彰」を創設しました。

表彰対象 前年度に認証した民間建築物及びテナント店舗等（以降、「建築物等」といいます。）

なお、令和4年度は、過去10年間（平成23年10月1日から令和4年3月31日）に認証した建築物等を表彰対象としました。

審査・選定基準 みなと森と水ネットワーク会議会員である協定自治体が下記の選定基準に基づいて投票し、投票結果を受けて港区が受賞施設を決定します。

- ① 木材の使用方法が公開性や視認性、デザイン性に優れ、創意工夫が見られること。
- ② 先進的な技術を利用して木材を使用していること。
- ③ 木材の活用に先導的な役割を果たしていること。
- ④ 協定木材等の利用に積極的に取り組んでいること。

表彰の種類 最優秀賞、優秀賞、奨励賞、特別賞、テナント店舗特別賞

4. 協定自治体による投票

※各自治体は、当該自治体内で産出された木材が利用された施設には投票不可



港区

1. 認証施設情報の収集
2. 木材資料量等の点数化
3. 協定自治体への情報提供

5. 投票結果を受けて受賞施設を決定
(第1回目となる令和4年度は過去10年間に認証した民間建築物等の中から27施設が受賞施設に決定)



協定自治体

みなとモデル二酸化炭素固定認証制度年表

年	月	受賞施設（※1）	みなとモデル二酸化炭素固定認証制度に関連したできごとなど	協定自治体数（※2）
2007年 (H19)	11		第1回みなと森と水会議	
2009年 (H21)	1		第2回みなと森と水会議、みなと森と水サミット2009	8
	10		みなと森と水ネットワーク会議発足	15
	12		みなとモデル二酸化炭素固定認証制度検討開始	
2010年 (H22)	2		第3回みなと森と水会議、みなと森と水サミット2010	15
	10		「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」施行	
2011年 (H23)	2		第4回みなと森と水会議、みなと森と水サミット2011	23
	10		「建築主におけるみなとモデル二酸化炭素固定認証制度」開始	32
2012年 (H24)	2		第5回みなと森と水会議、みなと森と水サミット2012	47
	10		第6回みなと森と水会議	63
2013年 (H25)	3	【優秀賞】 ブランズ六本木 （※民間建築物の認証第1号）		
	5	【優秀賞】 高輪フォーラム		
	6	【奨励賞】 The Upper House		
	8		「テナント事業者におけるみなとモデル二酸化炭素固定認証制度」開始	
	11		第7回みなと森と水会議、みなと森と水サミット2013	69
2014年 (H26)	1	【最優秀賞】 SunnyHills at Minami-Aoyama		
	2	【優秀賞】 農林中央金庫品川研修センター		
	6	【優秀賞】 西新橋スクエア		
	10		第8回みなと森と水会議、みなと森と水サミット2014	76
2015年 (H27)	2	【優秀賞】 品川シーズンテラス		
	10	【奨励賞】 オアーゼ芝浦M Jビル、オアーゼ芝浦レジデンス、オアーゼネクサス芝浦		
		【奨励賞】 パークアクシスプレミア南青山		
	11	【優秀賞】 住友不動産御成門駅前ビル		
	12		第9回みなと森と水会議、みなと森と水サミット2015	75

年	月	受賞施設	みなとモデル二酸化炭素固定認証制度に関連したできごとなど	協定自治体数
2016年 (H28)	3	【奨励賞】 パークコート赤坂桜坂		
	6	【奨励賞】 銀泉新橋第2ビル		
	10	【優秀賞】 ザ・パークハウスグラン 南青山		
		【奨励賞】 住友不動産六本木グランドタワー、 六本木グランドタワーレジデンス		
	11		第10回みなと森と水会議、みなと森と水サミット2016	78
2017年 (H29)	7	【奨励賞】 株式会社きらぼし銀行 本店		
	10		第11回みなと森と水会議、みなと森と水サミット2017	77
2018年 (H30)	2	【特別賞】 G-BASE田町		
	4		港区テナント店舗等の木質化モデル創出事業（助成金交付事業）開始	
	11		第12回みなと森と水会議、みなと森と水サミット2018	76
2019年 (H31)	1	【テナント店舗特別賞】 スターバックス コーヒー ムスブ田町2階店		
	11		第13回みなと森と水会議、みなと森と水サミット2019	78
2020年 (R2)	3	【テナント店舗特別賞】 natural style BIO SOPRA Tokyo		
	4	【最優秀賞】 高輪ゲートウェイ駅		
	6	【最優秀賞】 にじいろ保育園 海岸三丁目		
	8	【優秀賞】 WATERS takeshiba		
		【テナント店舗特別賞】 中川薬局		
	10		第14回みなと森と水会議、みなと森と水サミット2020	82
12	【優秀賞】 NOK本社ビル	みなと森と水ネットワーク会議が「ウッドデザイン賞」を受賞		
2021年 (R3)	3	【奨励賞】 ブランズ愛宕虎ノ門	みなと森と水ネットワーク会議が「ウッド・チェンジネットワーク」にオブザーバー会員として参加	
	4	【テナント店舗特別賞】 レストランテ カーサ瀬戸内		
	7	【奨励賞】 竹芝クリスタルビル		
	9		みなと森と水ネットワーク会議が「ウッド・チェンジ協議会」へ参加	
	10		「公共建築物等の木材利用促進法」が「都市（まち）の木造化推進法」へ改正 第15回みなと森と水会議、みなと森と水サミット2021 みなとモデル二酸化炭素固定認証制度施行から10年が経過	81
2022年 (R4)	1	【特別賞】 銀泉西新橋ビル		
	4		みなとモデル二酸化炭素固定認証制度表彰要綱の制定	
	10		第16回みなと森と水会議、みなと森と水サミット2022 令和4年度みなとモデル二酸化炭素固定認証制度表彰式（第1回）	80

受賞施設

最優秀賞 <3件>

- | | |
|-----------------------------------|------|
| 1. 高輪ゲートウェイ駅 | P.8 |
| 2. SunnyHills at Minami-Aoyama .. | P.9 |
| 3. にじいろ保育園 海岸三丁目 | P.10 |

優秀賞 <9件>

- | | |
|----------------------------|------|
| 4. 西新橋スクエア | P.11 |
| 5. 農林中央金庫品川研修センター | P.12 |
| 6. NOK本社ビル | P.13 |
| 7. 高輪フォーラム | P.14 |
| 8. ザ・パークハウスグラン 南青山 | P.15 |
| 9. 品川シーズンテラス | P.16 |
| 10. 住友不動産御成門駅前ビル | P.17 |
| 11. WATERS takeshiba | P.18 |
| 12. ブランズ六本木 | P.19 |

奨励賞 <9件>

- | | |
|--------------------------|------|
| 13. パークアクシスプレミア南青山 | P.20 |
| 14. 竹芝クリスタルビル | P.21 |
| 15. 銀泉新橋第2ビル | P.22 |

掲載
ページ





- 1 6. オアーゼ芝浦MJビル、
オアーゼ芝浦レジデンス、
オアーゼネクサス芝浦 P.23
- 1 7. パークコート赤坂桜坂 P.24
- 1 8. 住友不動産六本木グランドタワー、
六本木グランドタワーレジデンス P.25
- 1 9. 株式会社きらぼし銀行 本店 P.26
- 2 0. ブランズ愛宕虎ノ門 P.27
- 2 1. The Upper House P.28

特別賞 <2件>

- 2 2. G-BASE田町 P.29
- 2 3. 銀泉西新橋ビル P.30

テナント店舗特別賞 <4件>

- 2 4. レストランテ カーサ瀬戸内 P.31
- 2 5. スターバックス コーヒー ムスブ田町 2階店 ... P.32
- 2 6. natural style BIO SOPRA Tokyo P.33
- 2 7. 中川薬局 P.34



01 高輪ゲートウェイ駅

最優秀賞



JR高輪ゲートウェイ駅 駅舎の全景

建築主：東日本旅客鉄道株式会社

設計：株式会社 JR東日本建築設計

施工：大林・鉄建 建設共同企業体 品川新駅JV工事事務所

デザイナー・アーキテクト：隈研吾建築都市設計事務所

<建物概要>

- ◆ 建物用途：駅舎、事務所、物販店舗
- ◆ 所在地：港区港南二丁目1番220号 ◆ 延べ床面積：3969.52 m²
- ◆ 国産木材総使用量：65.76 m³ ◆ うち協定木材使用量：53.02 m³
- ◆ 1m²当たりの木材使用量：0.0165 m³(★★★) ◆ CO₂固定量：37.84 t-CO₂
- ◆ 樹種/産地
天井仕上げ(スギ/石巻市)、天井仕上げ(スギ/国産合法木材)、柱仕上げ(スギ/国産合法木材)、
壁仕上げ(スギ/国産合法木材)、梁仕上げ(スギ/古殿町)、置き家具(スギ/国産合法木材)
- ◆ 認証書発行：2020/4

【建築主等コメント】

高輪ゲートウェイ駅は、新しいまちの玄関口として位置づけられ、山手線としては49年ぶりの新駅です。大屋根と中央部の吹き抜けを中心としたシンプルで分りやすい構成により、誰もが使いやすく、木を多く利用することで、暖かみのある優しい雰囲気駅の駅となりました。

新しい駅は「エキマチ一体」の「われわれの街」のモチーフとして「折り紙屋根」を採用しました。大屋根の下に生まれる半屋外空間は、中央部の吹き抜けによって、ホーム・コンコース・街をつなぎ、人々が列車を降りた瞬間から街の賑わいを感じられる場所となりました。駅舎は木材を内外に積極的に使用し、新しい街のリビングとなるような居場所を演出します。

駅のコンコースの内壁は、ガラスコーティングにより燃えにくさと耐久性を両立させた上で、大和張り仕上げにより、材料交換を容易に可能になるようメンテナンスに配慮しました。

【審査コメント】

- 山手線としては49年ぶりの新駅である話題性や、不特定多数が集まる場所で、様々なかたちで木材を使用し、デザインだけではなく木材ならではの日本らしさや温かみを感じられる空間となっている点が良い。
- 大和張り仕上げにより、材料交換を容易に可能になるようメンテナンスに配慮している点や、認証書を有人カウンターに設置するなど、環境配慮に貢献している旨のPRも図られている。



ホーム・コンコースの様子



02 SunnyHills at Minami-Aoyama



建築主：SunnyHills Japan 株式会社

設計：隈研吾建築都市設計事務所

<建物概要>

- ◆ 建物用途：店舗、一部事務所 ◆ 所在地：港区南青山三丁目10番20号
- ◆ 延べ床面積：293.00 m²
- ◆ 国産木材総使用量：34.72 m³ ◆ うち協定木材使用量：0 m³
- ◆ 床面積1㎡当たりの木材使用量：0.1184 m³ (★★★)
- ◆ CO₂固定量：25.15 t-CO₂
- ◆ 樹種/産地
下地合板(スギ/国産合法)、壁装材(スギ/国産合法)、天井材(スギ/国産合法)、
屋根下地(スギ/国産合法)、梁(ヒノキ/国産合法)、外壁(ヒノキ/国産合法)
- ◆ 認証書発行：2014/1

最優秀賞

【建築主等コメント】

日本の木造建築に伝わる「地獄組み」という名のジョイントシステムを用いて、森のような、雲のようなやわらかくヒューマンな空間を創造しました。

3次元の構造システムの採用によって、一つの部材の断面寸法は60mm×60mmにまで細くすることが可能となっています。

【審査コメント】

- 外装や内装にふんだんに木が使われており、利用者だけでなく外観からも木材使用のPR効果が高く、話題性もある。
- 日本の木造建築に伝わる「地獄組み」を活かし、3次元へ拡張した目を引くデザインのインパクトと構造の複雑さ、差し込む光の空間が良い。
- 1㎡当たりの木材利用量も多く、次回以降は協定木材の使用に期待したい。



天井や内装材に国産木材を使用



計画でのポイント

- 「地獄組み」という2次元の組子の技術を3次元に拡張して使用
- 部材はE110の不燃処理した東濃桧を使用
- 木組み以外をガラスとすることで内外が木に包まれた空間を計画
- 内装にも木組みのパーティションや什器を採用

店内の様子

03 にじいろ保育園 海岸三丁目



最優秀賞

建築主：ライク・キッズ株式会社

設計：YTT一級建築士事務所

施工：三井ホーム株式会社

<建物概要>

- ◆ 建物用途：保育園
- ◆ 所在地：港区海岸三丁目16番6号
- ◆ 延べ床面積：861.48 m²
- ◆ 国産木材総使用量：27.47 m³
- ◆ うち協定木材使用量：0.71 m³
- ◆ 1m²当たりの木材使用量：0.0318 m³(★★★★)
- ◆ CO₂固定量：17.44 t-CO₂
- ◆ 樹種/産地
土台・大引(ヒノキ/国産合法木材)
間柱(スギ/国産合法木材)、壁造材・天井材(スギ/坂井市)
置き家具(ヒノキ/国産合法木材)
- ◆ 認証書発行：2020/6

【建築主等コメント】

建物は区内でも珍しい木造の耐火構造(木造軸組工法)となっています。

床材・家具・オリジナル遊具は、「国産ヒノキの間伐材」を積極的に採用しました。

随所に木材が使用し、木の温もり・香りに包まれた健康的な空間づくりを目指した園舎です。

【審査コメント】

- ふんだんに使われた木材の柔らかみが保育園の施設に合っており、柱などの意匠性が高い。
- 子どもたちが日常的に木に触れることができる環境にあり、木育や情操教育の場として環境が整えられている。将来を担う子どもたちのための環境としてとても良いと感じた。
- 今回の表彰対象建築物の中で唯一の純木造の認証建築物で木造の良さをPRし、非居住建物の木造化を促進するための良事例である。

(※テナント認証のレストランテ カーサ瀬戸内も木造耐火建築物ですが、建築物としての認証は行っていません。)



写真提供：三井ホーム株式会社

04 西新橋スクエア



【建築主等コメント】

地上22階、地下3階建てのオフィス・商業複合ビル。江戸時代には大名屋敷と町人街の結節点であったことから、江戸情緒を表現したデザインとしています。

江戸の町家をイメージした木格子やルーバーには不燃処理したスギ材を用い、エントランスや共用通路に多く配置することで、来訪者を温かく迎えています。

優秀賞

建築主：三菱地所プロパティマネジメント株式会社

設計：株式会社 三菱地所設計

<建物概要>

- ◆ 建物用途：事務所、飲食店
- ◆ 所在地：港区西新橋一丁目3番1号
- ◆ 延べ床面積：55,372.73 m²
- ◆ 国産木材総使用量：57.36 m³
- ◆ うち協定木材使用量：57.36 m³
- ◆ 1m²当たりの木材使用量：0.001 m³ (★)
- ◆ CO₂固定量：33.80 t-CO₂
- ◆ 樹種/産地
ウッドデッキ(カラマツ/信濃町)、壁装材木格子(スギ/静岡市)
壁装材 木格子(スギ/浜松市)、
天井材 ルーバー(スギ/静岡市)、造作家具 (スギ/東白川村)
- ◆ 認証書発行：2014/6

【審査コメント】

- オフィスエントランスの来訪者の目につく広々とした空間に、多くの木材が使われ、来訪者を温かく迎えている。
- 内装制限等にも配慮しながら、木材は全て協定木材が利用され、広々とした共用部に江戸時代の町屋を表現したデザインコンセプトが良い。



オフィスエントランスのスギ材を使用した木格子



店舗部の吹抜壁面及びエスカレーター部にスギ材を使用したルーバー



店舗部の共用部にはスギ材のベンチと天井ルーバー

05 農林中央金庫品川研修センター



【建築主等コメント】

地上14階建ての研修施設。内装のみならず、バルコニー部の軒天、木製の受水槽、木製什器等、各フロアに木材をふんだんに使用しています。

針葉樹を主に使用しながら和風のイメージにならないようデザインに工夫を凝らしています。

【審査コメント】

➤ 内外装問わず木質化されているだけでなく、受水槽や什器も木材を使うなど、様々な方法で積極的に木材を使用されている。針葉樹を使いつつも、和風にならないよう工夫するなどデザインもよい。



建築主：農林中央金庫
設計：株式会社山下設計
施工：清水建設株式会社

<建物概要>

- ◆ 建物用途：研修所
- ◆ 所在地：港区港南2丁目10番13号
- ◆ 延べ床面積：10,387.96 m²
- ◆ 国産木材総使用：45.91 m³
- ◆ うち協定木材使用量：29.75 m³
- ◆ 1m²当たりの木材使用量：0.0044 m³(★)
- ◆ CO₂固定量：28.37 t-CO₂

◆ 樹種/産地

下地合板(スギ/国産合法)、壁装材(スギ/国産合法)、
壁装材(ヒノキ/国産合法)、壁面パネル(ナラ/国産合法)、
天井材(ヒノキ/国産合法)、天井ルーバー(スギ/国産合法)、
その他ルーバー(カラマツ/葛巻町)、
ウッドデッキ(針葉樹/国産合法)、軒天(スギ/十和田市)、
木製受水槽(スギ/川根本町)、造作家具(スギ/国産合法)、
造作家具(ナラ/国産合法)、造作家具(クルミ/国産合法)、
置き家具(ヒノキ/日南市、西予市)、
置き家具(ヒノキ/国産合法)、置き家具(カラマツ/小諸市)、
置き家具(スギ/沼田市)、置き家具(ヒノキ/四万十町)

- ◆ 認証書発行：2014/2

優秀賞

06 NOK本社ビル



【建築主等コメント】

「わたしたちのオフィスは 働くなかで 森を守ります」のコンセプトのもと、国産木材を使用した什器を積極的に導入しました。

社員が日々使用するデスク・収納及び会議テーブルなどに杉材を中心に27㎡の国産木材を使用しています。

環境に配慮するとともに、働きながら木材の優しい手触りや温もりを感じられるオフィスを構築しました。



応接室の装飾品として、漆アートを導入しました。弊社の製品やコーポレートカラーを考慮しながら、環境に配慮した企業であるとのメッセージを伝えるべく、使用する木材に関しては、静岡事業場が所在し、ゆかりのある静岡県産の桧を採用し、加工しています。漆塗装では、職人が30回以上の青色のグラデーション塗装を行い、濃淡をつけることで高い平滑性と木目を生かした美しいオリジナルアートが実現しました。

1階エントランスホール壁面やワークプレイスの家具など、より多くのワーカーの目に触れ、実際に触れられる場所に木材を多用し、木材の良さが体感できるよう採用場所にも工夫を行っています。更に、木材のホワイトボードや漆塗りのアートに木を使うなど、木材の様々な活用を考え、木材利用の可能性にもチャレンジしたオフィスビルとなっています。

建築主：NOK株式会社

設計：株式会社竹中工務店

家具・什器：株式会社オカムラ

漆アート木材加工：天龍木材株式会社

漆塗装：有限会社山内うるし工芸

<建物概要>

- ◆ 建物用途：事務所
- ◆ 所在地：港区芝大門一丁目12番15号
- ◆ 延べ床面積：6,603.34 ㎡
- ◆ 国産木材総使用量：39.34 ㎡
- ◆ うち協定木材使用量：27.44 ㎡
- ◆ 1㎡当たりの木材使用量：0.0059 ㎡(★★)
- ◆ CO₂固定量：23.90 t-CO₂
- ◆ 樹種/産地
壁装材(スギ/鹿沼市)、木質ホワイトボード(ヒノキ/秩父市)、
漆木アートパネル(ヒノキ/浜松市)、OAフロア(スギ/国産合法木材)、
置き家具(スギ/坂井市、石巻市、国産合法木材)、
置き家具(メジロカバ/国産合法木材)
- ◆ 認証書発行：2020/12

【審査コメント】

- 什器等に積極的に国産木材が活用されており、仕事をしながら木に触れる空間作りをしている。
- 社内での創意工夫がみられ、環境対策に取り組む考え方も良い。
- エントランスホールやワークプレイスに木材を多用し、様々な方法で木材の持つ暖かみを感じられる施設になっている。



優秀賞

優秀賞



ライトアップされた建物外観

建築主：三菱地所株式会社

設計：株式会社三菱地所設計

<建物概要>

- ◆ 建物用途：寄宿舎、研修所
- ◆ 所在地：港区高輪四丁目30番地9、30番地18他
- ◆ 延べ床面積：8,787.04 m²
- ◆ 国産木材総使用量：134.40 m³ ◆ うち協定木材使用量：8.84 m³
- ◆ 1m²当たりの木材使用量：0.0015 m³ (★★★)
- ◆ CO₂固定量：91.39 t-CO₂
- ◆ 樹種／産地
 束、母屋、垂木(スギ／高山市)、
 雲筋違、屋根下地材(スギ／日南市)、柱、梁、下弦材、斜材、付梁、(カラムツ／国産合法)
 間仕切り下地、サッシ受け(カラムツ／国産合法)、屋根野地板、
 水平面合板(スギ／国産合法)
- ◆ 認証書発行：2013/5



束、母屋、垂木(スギ／高山市)



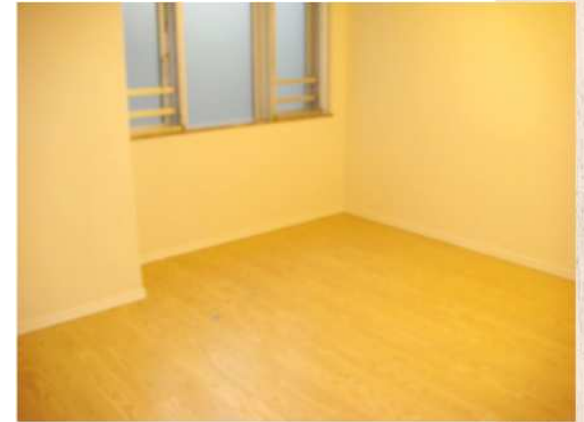
柱、梁、下弦材、斜材、付梁、(カラムツ／国産合法)

【審査コメント】

- 協定木材の割合は少ないが、国産木材の総木材使用量が多く、様々な方法で木材が使用されている。
- 外からの視認性も良く、全体的な建物のデザインと木材と照明の組み合わせが良い。

08 ザ・パークハウスグラン 南青山

優秀賞



【建築主等コメント】

床下地に協定木材(石巻市)及び国産合法木材の針葉樹構造用合板を使用しました。複合フローリングの個所は一重貼、床暖房周り、石、タイルの個所は二重貼となっており、国産材を豊富に採用することによりみなとモデル二酸化炭素固定認証制度の★★★認証を取得した建物となりました。

建築主：三菱地所レジデンス株式会社／三菱倉庫株式会社／東京建物株式会社

設計：東急建設株式会社 一級建築士事務所

<建物概要>

- ◆ 建物用途：共同住宅
- ◆ 所在地：港区南青山五丁目4番11号
- ◆ 延べ床面積：18,243.65㎡
- ◆ 国産木材総使用量：210.39㎡ ◆ うち協定木材使用量：65.64㎡
- ◆ 1㎡当たりの木材使用量：0.0115㎡(★★★) ◆ CO₂固定量：121.10 t-CO₂
- ◆ 樹種／産地
床下地合板(スギ/石巻市)、床下地合板(スギ/国産合法)
- ◆ 認証書発行：2016/10



【審査コメント】

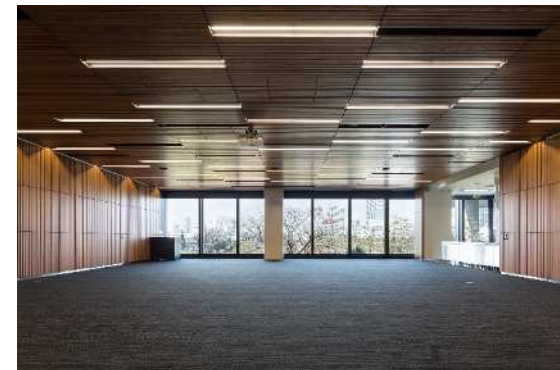
- 共同住宅という用途から、建物利用者以外の人の目に触れることは少ないが、居住者に暖かみを与える空間造りを行っており、また、1㎡当たりの木材使用率の高さ(★基準の11倍)やCO₂固定量の多さは、制度に貢献していると評価できる。

09 品川シーズンテラス

優秀賞



屋外 ウッドデッキ (スギ間伐材チップの再生木/石巻市)



コミュニティホール 壁・天井仕上 (スギ/宍粟市)

建築主：NTT都市開発株式会社

設計：株式会社NTTファシリティーズ一級建築士事務所

施工：大成建設株式会社 東京支店

<建物概要>

- ◆ 建物用途：事務所、飲食店、物販、カンファレンス、クリニック
- ◆ 所在地：港区港南一丁目2番70号 ◆ 延べ床面積：206,025.07 m²
- ◆ 国産木材総使用量：202.98 m³ ◆ うち協定木材使用量：202.29 m³
- ◆ 1m²あたりの木材使用量：0.001 m³(★) ◆ CO₂固定量：116.85 t-CO₂
- ◆ 樹種/産地

壁・天井ルーバー、パネル壁(スギ/宍粟市)、フェンス、ウッドデッキ他(スギ/宍粟市)

壁ルーバー、天井繋ぎ材(スギ/東白川村)、フェンス、トイレ・あずまや(スギ/都城市)

ウッドデッキ(スギ/石巻市)、ウッドデッキ(スギ/国産合法木材)

- ◆ 認証書発行：2015/2

【審査コメント】

- 1m²あたりの利用量が多いと言えないが、木材使用総量が多く、CO₂固定量も多い。
- 協定木材の利用割合が高く木材利用において、小径木の活用、再生材の使用、産地を想起させる見せ方・加工、多くの利用者の目に触れる場所への採用など、様々な工夫がされている。
- 環境配慮をコンセプトした設計に木材を有効に活用することにより、国材使用による環境の貢献を特に意識する作用をもたらしている。



EVホール壁・天井ルーバー (スギ/宍粟市・東白川村)



共通ロビー 壁ルーバー (スギ/東白川村)

【建築主等コメント】

mmamm品川シーズンテラスは、地上32階、地下1階のオフィスを中心とした複合ビルです。

豊かなみどりと水辺の空間を活かし、様々な低炭素社会の実現に向けた取り組みを推進しております。

木材活用の取組については、エレベーターホールやコミュニティホールの内装仕上、また緑地部分のウッドデッキやベンチ、フェンスに木材を使用しました。

天然木の風合いを保全しながら、内装不燃化するため、落ち着いた色調の仕上としています。

品川シーズンテラスの広大な屋外には、来訪者が憩える協定木材を敷設したオープンスペースを多数配置しています。耐久性・耐候性の高い再生木を採用して、長年にわたり来訪者に親しまれる環境を実現しています。

10 住友不動産御成門駅前ビル

優秀賞

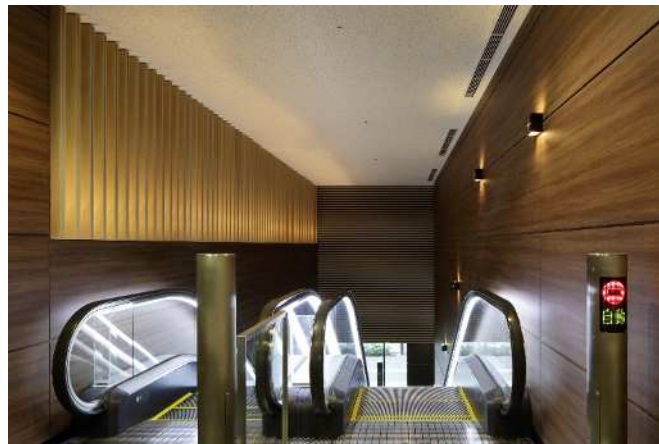


建築主：住友不動産株式会社

設計：株式会社日建設計

<建物概要>

- ◆ 建物用途：事務所、集会場、自動車車庫
- ◆ 所在地：港区新橋六丁目17番21号
- ◆ 延べ床面積：8,882.18 m²
- ◆ 国産木材総使用量：9.18 m³
- ◆ うち協定木材使用量：9.18 m³
- ◆ 1m²当たりの木材使用量：0.001 m³(★)
- ◆ CO₂固定量：4.03 t-CO₂
- ◆ 樹種/産地
壁装材(スギ/浜松市)、ウッドデッキ(ヒノキ/西予市)
- ◆ 認証書発行：2015/11



【建築主等コメント】

東京タワーに近い日比谷通りに面して、プレキャストコンクリートとアルミで構成した横連窓の出窓に、垂直に伸びる4つのダブルマリオンでアクセントをつけることにより、陰影のある外観デザインとなっています。

また、エントランスのホワイエや吹抜部に国産杉の無垢材を組み合わせて垂直性をデザインしたことにより、素材のもつ温かみのある空間となりました。

【審査コメント】

- 準不燃材料以上の内装制限がかかるエリアにも関わらず、工夫により素材のもつ温かみのある空間づくりを行っている。
- 内装のデザイン、木質化による温かみが良い。



11 WATERS takeshiba



【建築主等コメント】

ウォーターズ竹芝は眼前に汐留川・浜離宮が広がる、豊かな水と緑を感じられる複合施設です。床材に再生木材を採用した屋外テラスは、広場を中心として水平・垂直に展開しつつ建物内部と連続させ、豊かな自然環境と賑わいを敷地全体へ拡張することで周辺環境と調和した憩いの場を形成しています。

屋外テラスは、寝転んだり、座ったり、ゆったりとリラックスできる空間を目指していたため、天然木のようにトゲやささくれが発生しない再生木材を採用しています。



建築主：東日本旅客鉄道株式会社
設計：株式会社JR東日本建築設計
施工：清水建設株式会社

<建物概要>

- ◆ 建物用途
 - 高層棟：事務所、ホテル、物販店舗、飲食店、サービス店舗、駐車場
 - 劇場棟：劇場、物販店舗、飲食店、サービス店舗、駐車場
 - 駐車場棟：駐車場
- ◆ 所在地：港区海岸一丁目10番30号地 他
- ◆ 延べ床面積：103,464.42 ㎡
- ◆ 国産木材総使用量：126.68 ㎡
- ◆ うち協定木材使用量：102.08 ㎡
- ◆ 1㎡当たりの木材使用量：0.0012 ㎡(★)
- ◆ CO₂固定量：86.66 t-CO₂
- ◆ 樹種/産地
 - ウッドデッキ(スギ/坂井市)、OAフロア(スギ/国産合法木材)
 - 屋根下地(アカマツ/北杜市)
- ◆ 認証書発行：2020/8

【審査コメント】

- 協定木材が多く使われ、ウッドデッキ、水、緑、高層ビル群の調和がとれ、アピールポイントどおりのリラックス空間が形成されている。
- 多くの利用者の目に触れる形で使用され、ウッドデッキが草木と融和したデザインが良い。

優秀賞



建物外観（イメージ）



フローリングに協定材を使用

建築主：東急不動産株式会社

設計：清水建設株式会社

<建物概要>

- ◆ 建物用途：共同住宅
- ◆ 所在地：港区六本木七丁目26番2、165番2
- ◆ 延べ床面積：6,142.68 m²
- ◆ 国産木材総使用量：44.66 m³
- ◆ うち協定木材使用量：21.83 m³
- ◆ 1m²当たりの木材使用量：0.0072 m³ (★★)
- ◆ CO₂固定量：27.17 t-CO₂
- ◆ 樹種/産地
フローリング(トドマツ/紋別市、津別町、下川町)
各種下地(カラマツ、スギ/国産合法)
- ◆ 認証書発行：2013/3

【建築主等コメント】

六本木エリアに建つ垂直と直線のシャープなラインが特徴的なモダンデザインの5階建て、総戸数88戸の分譲賃貸型マンションです。

隣地には区立六本木西公園があり、徒歩圏内に六本木ヒルズ、東京ミッドタウン、国立新美術館などが立ち並ぶエリアに位置します。

フローリングや床下地で協定木材や国産木材を使用し、みなとモデル二酸化炭素固定認証制度の★★認証を取得した建物です。

【審査コメント】

- みなとモデル二酸化炭素固定認証制度による民建築物初の認定施設であり、木材も多く使用されていることから、全体的な評価として制度への貢献度が高い建物と言える。
- 複数の協定自治体から調達したトドマツをフローリング材として使用している。

13 パークアクセスプレミア南青山

奨励賞

建築主：三井不動産レジデンシャル株式会社

設計：三井住友建設株式会社

<建物概要>

- ◆ 建物用途：共同住宅 ◆ 所在地：港区南青山二丁目15番22号
- ◆ 延べ床面積：10,604.86 m²
- ◆ 国産木材総使用量：28.19 m³
- ◆ ◆ うち協定木材使用量：28.19 m³
- ◆ 1m²当たりの木材使用量：0.0026 m³ (★)
- ◆ CO₂固定量：16.43 t-CO₂
- ◆ 樹種/産地
床フローリング(トドマツ/豊富町)
- ◆ 認証書発行：2015/10

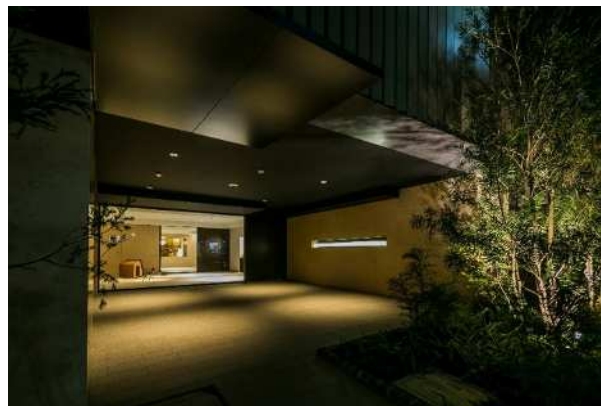
【建築主等コメント】

青山に建つ地上7階建ての低層型賃貸マンションです。2016年のグッドデザイン賞を受賞したシャンパンゴールドのモダンな外観の建物で、床のフローリング材に協定木材を使用しました。

【審査コメント】

目を引く外観のマンションで、床フローリング材のトドマツが全て協定自治体から調達されている。

建物外観



14 竹芝クリスタルビル



建築主：鈴江コーポレーション株式会社

設計・施工：鹿島建設株式会社

<建物概要>

- ◆ 建物用途：事務所、自動車車庫
- ◆ 所在地：港区海岸一丁目14番2号
- ◆ 延べ床面積：9,939.41 m²
- ◆ 国産木材総使用量：10.13 m³
- ◆ うち協定木材使用量：10.13 m³
- ◆ 1m²当たりの木材使用量：0.001 m³(★)
- ◆ CO₂固定量：5.83 t-CO₂
- ◆ 樹種／産地
ウッドデッキ(スギ/那賀町)
- ◆ 認証書発行：2021/7

奨励賞



【建築主等コメント】

地上7階建ての賃貸オフィスです。歴史や国際性を兼ね備えた海辺のまち「竹芝」において、全面ガラスカーテンウォールによる外装によって、先進性を表現したデザインとしています。屋上庭園のウッドデッキは栈橋をイメージし、多くの方の安らぎの空間となるよう、温かみのある色合いの再生木材を採用しました。

建物周囲には高木と低木で植栽を施し、歩行者や近隣住民にとっても緑豊かな環境となるように配慮しました。
(臨海エリアのため、潮風に強い樹種を選定しています。)

テナント入居者が利用できる屋上を大規模に緑化し、外部からの熱負荷を遮蔽し、同時に憩いの場を提供します。

屋上庭園が外部からも見えるようショーケース化し、建物価値向上のため魅せる建物として計画しました。

【審査コメント】

- 入居者の共用部である屋上庭園に協定木材のウッドデッキが使用され、周辺緑化とあわせて安らぎの空間を演出している。
- ガラス張りとなっている屋上庭園は、周囲の高いビルからの見え方にも配慮している点などが工夫されている。

15 オアーゼ芝浦MJビル、オアーゼ芝浦レジデンス、オアーゼネクサス芝浦

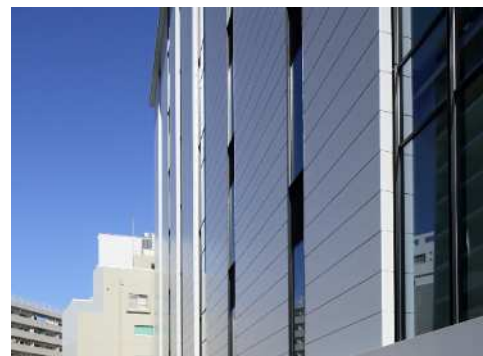


建築主：株式会社 丸仁ホールディングス

設計：清水建設株式会社

<建物概要>

- ◆ 建物用途：オフィスビル、集合住宅
- ◆ 所在地：港区芝浦二丁目15番6/16番11/14番4
- ◆ 延べ床面積：21,397.65 m²
- ◆ 国産木材総使用量：21.77 m³
- ◆ うち協定木材使用量：21.77 m³
- ◆ 1m²当たりの木材使用量：0.001 m³(★)
- ◆ CO₂固定量：16.12 t-CO₂
- ◆ 樹種/産地
床下地(カラマツ/小諸市)
- ◆ 認証書発行：2015/10



奨励賞

【建築主等コメント】

中規模のオフィスビル、小規模のオフィスビル、集合住宅の3つの建物群です。3棟同時開発によるメリットを活かし、街区間の電力、エネルギーの融通とその制御システムを構築し、既成市街地では国内初のスマートコミュニティを実現しました。

建物名のオアーゼは、ドイツ語でオアシスという意味で、利用者や地域の方の憩いの場とすべく内外に多くの木材や緑を配置しています。

みなとモデル制度の認証は協定木材の下地材を用いることで必要量を確保し、地域コミュニティの核となる3棟に囲まれたエリアに国産木材のベンチや木粉を利用したウッドデッキを立体的に施しました。

内部では、リフレッシュコーナーに木のルーバーを用い、吹抜扱いに設けることで、上昇感や立体感を演出した造りとなっています。

【審査コメント】

- 三棟に囲まれたエリアへのウッドデッキやベンチなどの外構や、内装の吹き抜け部分に効果的に木材を使っており、デザイン性が良い。

16 銀泉新橋第2ビル

奨励賞



【建築主等コメント】

地上9階、地下1階建てのテナントオフィスビル。通常木材利用が限られる用途ながらも、ガラス張りの階段室壁面に使用することで、日比谷通りからも木質化した内部空間が見えるように、街行く人の目に近い外装低層軒天や、内部ビル共用部に積極的に木材を利用しています。

ビル利用者が自然の木の風合いを日常的に感じられるよう、必要使用量の木材の全てを必要使用量を隠蔽することなく、「利用者の目に近い」箇所へ利用することで、実質使用量以上の印象が残るよう工夫した造りとなりました。

計画上の工夫点など

- 不燃加工を施した内装木材を積極的に利用
- 同一の杉材を節の有無や寸法などに変化をつけた。
- 日本の伝統色「藍色」や「新橋色(明るい水色)」との組み合わせで、木の自然な色味や風合いをより際立たせている。

【審査コメント】

- エントランス部分に木材が利用されていることが一目でわかり、外部からの見え方や、木材の利用方法にも様々な工夫が見られる。
- 閉鎖的になりがちなオフィスでありながら、木質化の視認性・公開性も良好である。

建築主：銀泉株式会社

設計：株式会社日建設計

施工：株式会社竹中工務店

<建物概要>

- ◆ 建物用途：事務所、物販店舗、自動車車庫
- ◆ 所在地：港区新橋五丁目1番9号
- ◆ 延べ床面積：7,532.32 m²
- ◆ 国産木材総使用量：50.00 m³ ◆ うち協定木材使用量：9.50 m³
- ◆ 1m²当たりの木材使用量：0.0013 m³(★)
- ◆ CO₂固定量：5.47 t-CO₂
- ◆ 樹種/産地
軒天(スギ/八女市)、EVホール、階段室 軒天・壁(スギ/川根本町)
EVホール 天井(スギ/川根本町)、エントランス 壁(スギ/川根本町)
- ◆ 認証書発行：2016/6





建築主：三井不動産レジデンシャル株式会社
 <建物概要>

- ◆ 建物用途：共同住宅
- ◆ 所在地：港区赤坂一丁目12番20号
- ◆ 延べ床面積：5,321.95 m²
- ◆ 国産木材総使用量：44.25 m³
- ◆ うち協定木材使用量：44.25 m³
- ◆ 1m²当たりの木材使用量：0.0083 m³ (★★)
- ◆ CO₂固定量：25.47 t-CO₂
- ◆ 樹種/産地：床下地合板(スギ/石巻市)
- ◆ 認証書発行：2016/3



【建築主等コメント】

「パークコート赤坂桜坂」は、港区赤坂1丁目の高台に建つ全46邸のマンションです。敷地の面する桜坂には、150本ものソメイヨシノ、周囲には、公邸や名門ホテルがあります。

内装材や家具等に利用されている木材は外国産材のマホガニー等で作ったものとなりますが、床下地材として協定木材を積極的に利用しています。



【審査コメント】

▶ 過去10年間の認証建築物のうちみなとモデル二酸化炭素固定認証制度の★★認証以上の民間建築物が21件しかない中で、使用木材が全て協定木材であり、かつ、1m²当たりの使用率も高い。

18 住友不動産六本木グランドタワー、六本木グランドタワーレジデンス



建築主：住友不動産株式会社

設計：株式会社日建設計

<建物概要>

- ◆ 建物用途：事務所、共同住宅、テレビスタジオ、貸会議室、飲食店、物販店舗、変電所、自動車車庫
- ◆ 所在地：港区六本木三丁目2番1号(グランドタワー)
港区六本木三丁目2番2号(レジデンス)
- ◆ 延べ床面積：207,746.51 m²
- ◆ 国産木材総使用量：230.50 m³ ◆ うち協定木材使用量：230.50 m³
- ◆ 1m²当たりの木材使用量：0.0011 m³(★)
- ◆ CO₂固定量：32.95 t-CO₂
- ◆ 樹種/産地
床下地合板(スギ/石巻市)、複合フローリング基材(トドマツ/紋別市)
- ◆ 認証書発行：2016/10

奨励賞

【建築主等コメント】

六本木一丁目駅を中心に、東側の泉ガーデン街区と西側の本街区を結び付け、六本木通りと放射1号線、首都高により切断された市街地の一体性回復を図る再開発事業で計画された建物です。

業務棟を中核に住宅棟、商業棟から構成され、街区の中にオープンスペースを創出し、緑と歩行者のネットワークを形成した。木材は住宅棟の床材として、身近に感じやすい部位で活用しました。

長寿命や不燃性を求める建物の中で、木材を利用できる部位を選定することは難しく、本プロジェクトでは木材との親和性が比較的高い住宅棟の中で活用することとし、仕上材では色柄の選択肢が限定され多用できなかったが、床材の下地合板で必要量を確保しました。



【審査コメント】

- 1m²当たりの利用率が高いわけではないが、都市部の大規模建築物であり、利用している木材の総量が多い。
- フローリング、下地にも全て協定木材が使用されており、制度に貢献している。

奨励賞



建築主：株式会社きらぼし銀行

設計・施工：清水建設株式会社

<建物概要>

- ◆ 建物用途：事務所
- ◆ 所在地：港区南青山三丁目10番43号
- ◆ 延べ床面積：11,691.76 m²
- ◆ 国産木材総使用量：14.34 m³ ◆ うち協定木材使用量：9.71 m³
- ◆ 1m²当たりの木材使用量：0.0012 m³(★) ◆ CO₂固定量：8.25 t-CO₂
- ◆ 樹種/産地
化粧壁(スギ/檜原村)、床下地パーティクルボード(スギ/国産合法木材)
床下地パーティクルボード(スギ/石巻市)、床下地合板(スギ/国産合法木材)
- ◆ 認証書発行：2017/7



【建築主等コメント】

青山通りに建つ、東京を代表する地方銀行の本店です。西日を遮蔽する縦ルーバーを正面に設え、Low-eペアガラスと共に空調負荷を低減しています。

環境負荷を低減するため、太陽光発電や雨水再利用、外気冷房等の設備を設けています。国産(石巻・多摩)木材を用いて二酸化炭素を固定(東京都認証取得)しています。

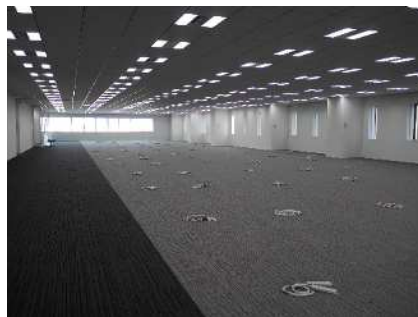
石巻産木材のほか、地域建材である多摩産のスギを積極的に採用しました。

とくに、応接受付まわりや各階のフロアサインなど、目立つ部位に多摩産スギを用いて、地球環境への配慮や木材使用、地域産業の活性化をアピールしています。



【審査コメント】

- 必要量は床下地材等で確保しながら、目立つ部分などにも意識的に利用することで工夫を行っている。
- 化粧壁として施された木材のデザインが良い。



奨励賞



【建築主等コメント】

ドラスティックに変化・進化していく虎ノ門エリアの一角にある17階建分譲マンションです。

住宅棟、店舗棟の屋上部には積極的に屋上緑化を設置し、共用部には水盤及び滝を設置する等、自然との調和を測った建物です。

木材利用については、住戸内で大面積の木材使用が可能な床下地を対象として計画しました。

全93戸数の内、65戸のリビングダイニング、各洋室、廊下、洗面室、トイレの床下地などの各所に協定木材(宮城県石巻市)を採用し、積極的な木材利用に務めました。



国産木材の活用にあたり具体的にどの材料を建物のどの部分に採用するか苦慮しましたが、大面積にて確保可能な住戸内床下地材への使用を計画し、環境へ配慮から、採用する住戸タイプ(65戸)全ての床下地材に適用することとし、より多くの国産木材の活用ができるようにしました。

木材の中でも比較的断熱性能の高いスギを採用し、また震災復興の観点から宮城県石巻市の協定木材を選びました。

【審査コメント】

➤ 活用方法に苦慮しながらも、積極的に国産木材を多くの住戸で採用し、みなとモデル二酸化炭素固定認証制度の★★認証に当たる木材使用量を確保している。また、総使用量に占める協定木材の割合も多い。

建築主：東急不動産株式会社

設計：株式会社安宅設計

構造設計・施工者：西松建設株式会社 関東建築支社

<建物概要>

- ◆ 建物用途：共同住宅、飲食店
- ◆ 所在地：港区虎ノ門三丁目19番10号
- ◆ 延べ床面積：9,974.1 m²
- ◆ 国産木材総使用量：60.76 m³
- ◆ うち協定木材使用量：59.98 m³
- ◆ 1m²当たりの木材使用量：0.006 m³(★★)
- ◆ CO₂固定量：34.97 t-CO₂
- ◆ 樹種/産地
床下地合板(スギ/石巻市)、床下地合板(スギ/国産合法木材)
- ◆ 認証書発行：2021/3

21 The Upper House(アッパーハウス)



【建築主等コメント】

六本木、麻布十番、元麻布に隣接する高級レジデンスです。共用スペースのエントランスロビーには、書斎コーナーを設け、ゲストや住民が利用できるスペースとなっています。

使用されている木材は、テラスデッキにイベ、フローリングや棚板などにオークなどの外国産材主な材料となっており、国産木材の使用箇所は限られていますが、床下地となる部分に国産木材を積極的に使用しています。

国産木材の使用法としては、複合フローリングの基材に11mm厚の合板を使用、また、床下地の捨張りに12mm厚の杉と唐松合板を使用しました。

各居室と廊下及び共有部分の廊下の床下地にも同様の国産木材を使用し、みなとモデル二酸化炭素固定認証制度の認証では★★★★を取得しています。



建築主：有限会社大林興産

設計：株式会社陣設計

<建物概要>

- ◆ 建物用途：共同住宅
- ◆ 所在地：港区元麻布三丁目8番50号
- ◆ 延べ床面積：5,203.09㎡
- ◆ 国産木材総使用量：62.90㎡
- ◆ うち協定木材使用量：0㎡
- ◆ 1m²当たりの木材使用量：0.0120㎡(★★★★)
- ◆ CO₂固定量：36.20t-CO₂
- ◆ 樹種/産地
フローリング(スギ/国産合法)、下地合板(スギ/国産合法)
- ◆ 認証書発行：2013/6

奨励賞



【審査コメント】

➢ 過去10年間に認証された民間建築物のうちみなとモデル二酸化炭素固定認証制度★★★★認証を取得したものは5件のみで、わずか3%にも満たない。表面材としては外国産材が利用されているものの、積極的な利用がない限り、簡単に★★★★が取得できるものではなく、制度に貢献していると言える。

特別賞



建築主：三井不動産株式会社／清水建設株式会社
 設計：清水建設株式会社 一級建築士事務所
 <建物概要>

- ◆ 建物用途：事務所、自動車車庫、物販店舗、飲食店舗
- ◆ 所在地：港区芝五丁目29
- ◆ 延べ床面積：18,242.07 m²
- ◆ 国産木材総使用量：37.75 m³
- ◆ うち協定木材使用量：16.67 m³
- ◆ 1m²当たりの木材使用量：0.0020 m³ (★)
- ◆ CO₂固定量：23.47 t-CO₂
- ◆ 樹種／産地
 OAフロア(スギ/国産合法木材)、天井バトン(その他広葉樹/東白川村)
 ELV三方枠(スギ/東白川村)、丸太柱(ヒノキ/東白川村)
 丸太ベンチ(ヒノキ/東白川村)、棚(ヒノキ/東白川村)
 丸太カウンター(ヒノキ/東白川村)、ELV内手摺(ホオノキ/東白川村)
- ◆ 認証書発行：2018/2

【建築主等コメント】

芝地区に位置する地上18階建てのオフィスビルです。

共用部のデザインにおいて、コンクリートやステンレス板といった無機質な素材の中に木材を使用しながら、木材表面に「名栗」の手法などの伝統の業を施した材を随所に採用し、意匠性と機能性を兼ね合わせた工夫を行いました。



EVの三方枠にスギ材を使用し、表面には「名栗」の加工
 天井部には広葉樹丸太を意匠として設置



ヒノキの丸太をそのまま利用した
 エントランスホール



テーブル、ベンチにヒノキ材を使用したラウンジ



【審査コメント】

- オフィス内の無機質な素材の中に、広葉樹の丸太をそのまま利用するなど、木材本来の美しさと伝統技術を活かした意匠にこだわりが感じられる。
- 無機質な素材と組み合わせながら、他にはない木質化が図られ、特徴的な空間が形成されている。

23 銀泉西新橋ビル



建築主：銀泉株式会社

設 計：株式会社日建設計

<建物概要>

- ◆ 建物用途：事務所
- ◆ 所在地：港区西新橋一丁目15番1号
- ◆ 延べ床面積：7,776.26 m²
- ◆ 国産木材総使用量：20.67 m³
- ◆ うち協定木材使用量：20.67 m³
- ◆ 1m²当たりの木材使用量：0.0026 m³(★)
- ◆ CO₂固定量：11.89 t-CO₂
- ◆ 樹種/産地
軒天(スギ/黒滝村)、天井仕上げ(スギ/黒滝村)
- ◆ 認証書発行：2022/1

特別賞

【建築主等コメント】

地上12階、地下1階建てのテナントオフィスビルです。西新橋の交差点に鎮座する当該ビルは吉野杉の特性を活かし、軒の連なりのデザインが日本古来の建築を想起させつつ、周辺環境にも調和した斬新な意匠に仕上がりました。

二酸化炭素の固定化を図るとともに、建物の顔となる部分に木材を用いることで、道行く人にも木材の魅力や環境に対する意識を感じてもらえることを意識ながら、北側外装の大ききより出した庇の軒天部分に木材を使用し、西新橋の交差点という人通りが多い交差点において、信号待ちをする人々が思わず見上げるようなインパクトのある建物となりました。

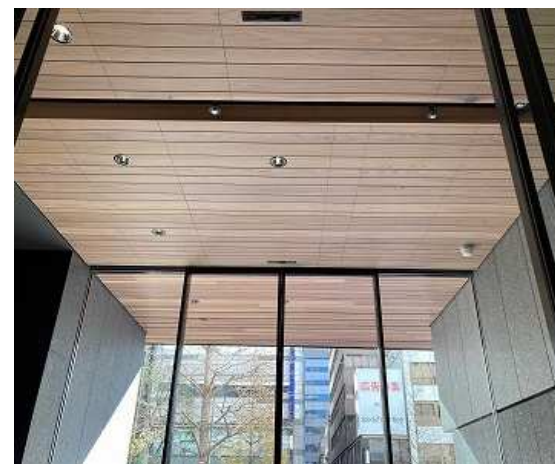
【耐久性の確保】

外装に木材を使用するにあたって、数十年というビルの供用年数に耐えうるものとする必要があり、耐久性処理を施した木材を使用するとともに、その上に保護塗料を塗ることで、長期に渡って木を美しく保つ配慮を行いました。

【木材の落下防止】

木材の止付けは平板をさね加工とし、嵌会させて止付けることで落下防止対策を行っています。また小さなピースは隣接する板材と一体の役物として同じく落下しない工夫を施しています。

木は水に弱いため、軒天の裏側に水が回らないように庇の上面に防水を施す必要があり、庇が斜めに薄くなる構成とし、庇の先端の薄さを保ったまま必要な防水性能を確保することに苦労しました。



【審査コメント】

- 木材使用量は多いとは言えないが、斬新なデザインの大ききより出した庇が記憶に残り、木材の魅力を発信するためのPR効果が高い。
- 通行人が見上げて楽しめる視認性・公開性の高いデザイン性は秀逸

24 リストランテ カーサ瀬戸内

テナント
店舗
特別賞



【建築主等コメント】

食事空間としての居心地の良さを求めることはもちろん、コンサートを普段行うことから、室内に響きわたる音色が柔らかくなるように木材の利用箇所や形状を工夫し設計しました。

外観の仕上げについても、こけら葺きの屋根、柱や梁、木製サッシなど、本物の木の風合いに拘ったオーナーの想いを実現することで、独特の存在感のある建築物となりました。

耐火性が求められる建て込んだ都会の中で、構造材も木造とし耐火建築物の仕様を満たすつくりとしました。

吹抜けやスキップフロア、バルコニーなど、複雑な建物形状を実現するためにも、柔軟に架構が組める木造の特性が力を発揮しました。薪ストーブのある大空間でも、耐火建築物とすることで内装の仕上げ材にふんだんに自然な木材を利用することが法規上可能となりました。



建築主：カサイホールディングス株式会社

設計デザイン：オクタント建築都市研究所

木材施工：宮崎木材工業株式会社

<建物概要>

- ◆ 建物用途：飲食店 ◆ 所在地：港区浜松町二丁目7番9号
- ◆ 対象床面積：121.77 m²
- ◆ 国産木材総使用量：3.39 m³ ◆ うち協定木材使用量：3.39 m³
- ◆ 1m²当たりの木材使用量：0.0278 m³(★★★★)
- ◆ CO₂固定量：1.95 t-CO₂
- ◆ 樹種/産地
天井材(スギ/日光市)、壁材(スギ/日光市)、
付柱、付梁、柱、梁囲い、照明ボックス、外装(スギ/日光市)
- ◆ 認証書発行：2021/4

【審査コメント】

- 節のある木材をあえて利用することで、自然の雰囲気を醸し出し、落ち着く空間を造りだしている。外観・内装へのこだわりはもとより、構造材も木材を使用している点が良い。

通常の木造建築では避けられる節のある材料や、色味の揃わないものを厭わず、それすらもその木が育ってきた姿を映すものとしてあえて選びました。

また、日光東照宮からは樹齢400年の柱材を譲り受け、店のシンボルとして中心に据えています。その柱も美しく磨き上げるのではなく、節を残して表面の凹凸も残したままに、塗料を塗りこまないことをこだわりとしました。

25 スターバックス コーヒー ムスブ田町 2階店

テナント
店舗
特別賞

ウッドデザイン賞2019 受賞



建築主：スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社

<建物概要>

- ◆ 建物用途：飲食店
- ◆ 所在地：港区芝浦三丁目1番21号
msb Tamachi田町ステーションタワーS 2F205
- ◆ 対象床面積：162.89 ㎡
- ◆ 国産木材総使用量：0.89 ㎡
- ◆ うち協定木材使用量：0.89 ㎡
- ◆ 1m2当たりの木材使用量：0.0054 ㎡(★★)
- ◆ CO₂固定量：1.02 t-CO₂
- ◆ 樹種/産地
置き家具(ナラ/湯沢市)、造作家具(ナラ/湯沢市)
- ◆ 認証書発行：2019/1

【建築主等コメント】

人と人、人と自然の”つながり”を創出する場所として設計しました。駅の商業施設という人工的なロケーションに自然の温かみを表現するため、みなとモデル協定木材を使用した家具・内装・アートを施しました。

店内の家具・什器には、みなとモデルの協定木材である秋田県湯沢市のナラ材を使用し、日本の職人がつくる居心地の良い家具を採用しました。

また、製材所で木材を加工する過程で出てしまう木端材を廃棄せずに活かし、木の新しい魅力・価値として蘇らせ、壁面アートやバーカウンターの腰壁に取り入れています。

木材を使用する範囲や方法について、内装材として壁面や仕上げ、家具に取り入れることは他社にも出来るが、さらにスターバックスらしく表現できる方法を模索した結果、製材所での加工過程で出る端材を店舗のメインとなるバーカウンターやアートに再利用すべく、店舗で働くパートナー(従業員)や、地域の方に参加いただきワークショップという形で端材を加工・色付けを行い、一つの作品として廃棄される端材に新しい価値を生み出しました。

【審査コメント】

- 工夫を凝らした意匠性の高さ、また店舗スタッフや地域住民など多様な人が集まって作り上げるワークショップを通して店舗に愛着を持つ製作過程での工夫が良い。
- 製材所で木材を加工する過程で出てしまう木端材を廃棄せずに活かした点がSDGsの観点からも評価できる。



ワークショップで地域住民と共に加工・色付けを行ったバーカウンターやアートの素材

26 natural style BIO SOPRA Tokyo

テナント
店舗
特別賞



写真提供:株式会社RK Design

建築主：株式会社UCHIAGE

＜建物概要＞

- ◆ 建物用途：物販店
- ◆ 所在地：港区東新橋二丁目9番4号 ヴィアパルコビル1階
- ◆ 対象床面積：39.98 m²
- ◆ 国産木材総使用量：0.93 m³
- ◆ うち協定木材使用量：0.93 m³
- ◆ 1m²当たりの木材使用量：0.0232 m³(★★★)
- ◆ CO₂固定量：0.69 t-CO₂
- ◆ 樹種／産地
造作家具(ヒノキ/檜原村)、壁装材(ヒノキ/檜原村)、
床フローリング(ヒノキ/檜原村)、置き家具(ヒノキ/檜原村)
- ◆ 認証書発行：2020/3



【審査コメント】

- 壁面陳列棚の実用性とデザインがうまく融合した秀逸で斬新な意匠が良い。
- 壁面陳列棚は複雑な造りであるため専門的技術も高い。
- 木材使用料も多く、全面的に木質化を感じるデザインとなっている。



テナント
店舗
特別賞



建築主：中川薬局
 設計：株式会社エー・ディ・アンドシー(a'DandC c.inc)
 <建物概要>
 ◆ 建物用途：薬局
 ◆ 所在地：港区三田二丁目7番9号 サニー Crest 三田1F
 ◆ 対象床面積：59.51 m²
 ◆ 国産木材総使用量：0.41 m³ ◆ うち協定木材使用量：0.41 m³
 ◆ 1m²当たりの木材使用量：0.0068 m³(★★) ◆ CO₂固定量：0.21 t-CO₂
 ◆ 樹種/産地
 天井ルーバー、建具パネル、壁面、カウンター、ソファベンチ、
 ペンダントライト(サワラ/檜原村)
 ◆ 認証書発行：2020/8

【建築主等コメント】

東京タワーが良く見える三田通りに面した薬局です。移転に伴い再設計することとなりました。店内の壁、天井、カウンターそしてトイレの壁にFSCのサワラを使用しました。ほのかな香りと温かみのある空間となったことで訪れる方から好評をいただいております。

港区三田の地域に根付いた調剤薬局のリニューアル工事で、居心地の良い空間を提供したいというオーナーの思いと、港区木質化の助成金が出ることを聞き、東京都檜原村産のFSC®材のサワラを直接仕入れ、天井ルーバー、壁面、羽目板から建具までふんだんに利用し、ほのかなに木の香りのするオーナーの求める空間に仕上げる事が出来ました。



- 間接照明との組み合わせで柔らかな空間となりました。冬場の乾燥で木材にひびが入り、手入れをしました。
- FSC®材という国際認証の木材ではありますが、見た目は主張が控えめな白木の木材です。しかしこの木材を配置とバランスを上手く調整することで、見た目とほのかなに木の香りのする居心地の良い空間を作ることができました。

【審査コメント】

- 待合室に木材を活用することで柔らかな空間を創り出している。
- 医療に関する施設での木質化は、木材が健康に良い影響を与えるという研究結果も出ており、良い取組である。
- 木材がふんだんに使われ、優しさを感じる。薬局での木質化は珍しい。





みなとモデル二酸化炭素固定認証制度表彰

港区 環境リサイクル支援部 環境課 地球温暖化対策担当

港区芝公園1-5-25 TEL : 03-3578-2474

令和5年(2023年)3月発行
発行番号 2022219-5611

www.uni4m.or.jp